

香月恵介 short concept 2024

モニターに映し出された画像をその表示構造、赤青緑の画素を絵具で再現した「ピクセルペインティング(Pixel Painting)」を主軸に制作する。画像はモネやターナーの絵画を採用しているが、これは光を描いた著名な画家の作品を現代の光学技術の成果たるモニター(発光する画像)へ召喚し、その画像を絵画化することによって、現代におけるイメージや光についての再考を促すためである。そのほかにも、ピクセルペインティングにRGBライトを照射した「Lux」シリーズ、偶発的に混ざり合った色材的灰色とランダム生成された仮想物としての光学的灰色が混成された画面を作り出す抽象絵画「Gray」シリーズを手掛けるなど、現代の光と絵画の関係性を考察している。

近年ではDiffusion model AIに生成させた擬似的な心霊写真を古典写真技法によって撮影した写真作品「Angels」を制作している。液晶ディスプレイに映し出されたエクストラをベンヤミンの「歴史の天使」のアレゴリーで読み解くことで、現在の画像メディアが置かれている状況を捉える試みを行っている。